



学校だより

彩雲燦燦

令和7年10月20日

文責：校長 原 佳織

今年の合唱コンクール本番までカウントダウン。各クラスとも最後の追い込みの時期になり、学校のあちこちから歌声がきこえてきて心がうきうきしてくるのは私だけではないと思います。そして、自分たちで選んだ曲を仕上げていくために声を合わせ、響きを合わせ、思いを合わせていこうとする姿から、みんなで繋がること、みんなが繋がっていることの素晴らしさを感じます。歌詞に込められたメッセージに、一人ひとりの歌声が重なって生まれる空間と時間がなんてきらきらしていることか。今から、20年以上前になりますが、合唱の素晴らしさを生徒と一緒にもっと味わいたいと思った私は、当時勤めていた学校で NHK 全国音楽コンクールに挑戦しました。このコンクールでは、毎年新しく作られる課題曲と各学校で選んだ自由曲の2曲を歌います。それぞれの曲を少しでも豊かに表現していきたいと練習し、それがコンクール当日のステージで歌い上げることができたときには言葉で言い表すことができないほどの高揚感や満足感がありました。ただ、何度もこのコンクールに挑戦し続けたのには、もっとうまくなりたいという気持ちのほかに理由がありました。それは、初めてコンクールに出場したときに経験したことによるものでした。コンクールでは各校演奏後に審査をされるのですが、その時間に行われた出場者全員(20校以上出場)による課題曲の大合唱をしたことからでした。しかも、司会者が何かを促すのではなく、会場にいる中学生の誰かが「みんなで歌おう」と声をあげて始まったのです。それぞれの学校でコンクールに向けて練習してきた課題曲。コンクールであることを越え、ホール内にいた全ての人が合唱で時間と空間が繋がっている。課題曲に込められた思いが、自分からあふれるとともに、自分の周りにその思いがあふれていることを五感で感じる事ができたのです。心が震えました。心と心が繋がっていることを五感で体験できる合唱はなんて大きな力をもっているのか。この体験を通して、それまで以上に合唱への向き合い方が一段高くなったように思います。間もなく太宰府西中の合唱コンクール。太宰府西中の「みんなで」「繋がって」、太宰府西中のみんなの合唱でしか味わうことのできない体験をしたいと思います。みんなで素晴らしい合唱コンクールをつくっていきましょう！ちなみに、今年のNHK全国音楽コンクールの課題曲は「空」(作詞;SKY-HI、作曲;UTA/LOAR/SKY-HI)。BE:FIRSTのMVも素敵です。



昨年度合唱コンクールの様子



一人ひとりが輝き、「ワクワク」が止まらなかった中体連新人大会

3年生の先輩からのバトンをしっかりと引き継ぎ、どの部も1、2年生が中体連新人大会で全力プレーを魅せました。女子剣道部は見事に筑紫区大会優勝を果たし、筑前地区大会に駒を進めました。水泳では2年生が筑前地区大会50M自由形、100M背泳ぎで第2位、200M背泳ぎで第3位となり県大会出場などを決めています。成績はもちろんですが、応援しながら感じたのはチームとしての力が大きく成長したということでした。特に、最後まであきらめない気持ちやベンチでの一体感から「もっともっと強くなる」「もっともっと成長する」という気持ちが伝わってきて、わく

地域の一員としてがんばりました！

わくが止まりませんでした。

太宰府西中校区の各地区で夏に、そして秋に祭りが開催されています。これまでたくさんの生徒の皆さんがその祭りの準備や運営等に参加することができました。そして、地域の皆様から「中学生のおかげで、準備が早くできた」「とても頼りになり、助かった」という声を聞きました。地域全体で育てていただいているのだと強く感じました。生徒の皆さんは「中学生だからこそできることがある」と感じたのではないのでしょうか。自分の地区のために自分ができることがあると感じることは、社会の一員となっていくためにとても大切な経験です。コミュニティ・スクールとして、地域や保護者の皆様とともに、もっと伸びていけるようがんばっていききたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

